



幸手市立幸手小学校



6年1組
村越 彩羽 さん

私の将来の夢は、人の役に立つ仕事に就くことです。「ありがとう」という言葉で、とても幸せな気持ちになり、お互いに笑顔があふれるからです。

夢をかなえるために、思いやりの気持ちをもって生活していきたいです。



6年2組
松本 陽菜乃 さん

私の将来の夢は有名なバドミントン選手になることです。試合で応援されると頑張ろうという強い気持ちになるからです。これからも良い成績が残せるようにたくさん練習してみんなから応援される選手になりたいです。



6年2組
渡邊 篤史 さん

僕は、みんなが笑顔になれる平和な世の中になりたいです。僕は絵が得意なので、平和の良さや、命の大切さをみんなに伝えるような絵を描きたいです。僕の好きや得意を活かして、多くの人達を笑顔にしたいです。

満福寺四万六千日の法要

8月9日(水)、満福寺において四万六千日の法要が行われました。この日にお参りをすると4万6千日分のご利益があると言われていいます。

満福寺の境内には子どもたちが描いた絵を付けた灯籠が並びました。

日が落ちてあたりが暗くなってくると、火が灯った灯籠が優しい光を放し、幻想的な雰囲気を作り出していました。



天神町ナイトバザール



8月26日(土)、中1丁目の天神神社で、年に1度の天神町ナイトバザールが行われました。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていましたが、今年4年ぶりの開催となりました。

当日は、飲食販売や子ども縁日、ステージなどイベントが盛りだくさん。多くの人が集まり、夏夜のお祭りを楽しんでいました。

消防団ポンプ車操法大会



9月3日(日)、幸手市役所にて幸手市消防団によるポンプ車操法大会が行われました。普段は仕事をもつ消防団員ですが、休日や平日夜間を利用し、この日のために訓練を重ねて来ました。

一つひとつの動作に気を配りながらポンプ車操法を行う団員の姿はとても見ごたえがあり、優勝した分団の団員は「練習の成果が遺憾なく発揮でき、とても嬉しく思います。」と話してくれました。



さくら小稲刈り体験

9月11日(月)、さくら小学校にて秋の恒例行事「稲刈り体験」が行われました。

はじめは、鎌で稲を刈ることに苦戦していた児童も何度も刈ることでコツを覚え、楽しそうに稲刈りをしていました。

児童は「鎌を使うのは難しかったけれど刈ることができてよかったです。収穫したお米を食べることが楽しみです。」と話してくれました。



プレゼンテーション講座発表会

9月10日(日)、幸手市北公民館にてPBL(課題解決型学習)&プレゼンテーション講座発表会が開催されました。6人の子どもたちが、自分たちで課題を見つけ、解決策を考えまとめた数か月の成果を自分たちの言葉で伝えました。

子どもたちは、「自分でスライドを作り、発信するという良い経験ができました。」「素敵な思い出となりました。また参加したい。」と話してくれました。



燎原短歌会

老衰に
級友逝きぬわが年齢を
数へてわびしき
秋の夕暮
竹園末子・中二

わが軒を
発ちし子つばめ五つなり
南の海ゆく
船に迫るや
長下部圭作・東五

台風を
気づかふ朝の空晴れて
日差しの強し
百日紅もゆる
堀山徳子・中四

入院の
夫の笑顔の病状に
安堵の思い
共にかみしむ
桑島正江・東四

七日前
会話せず友旅立ちぬ
画業なかばは
哀しみにたえぬ
大熊昭子・東五



若草俳句会
今月の季節「昼寝・蟬」
および自由題

検査終へ

安堵の妻の大昼寝

大熊三郎・幸手市北

文庫本

何時しか落ちて昼寝人

三澤猛・幸手市香日向

杉並木

樹齡千年蟬しぐれ

富澤一美・幸手市上宇和田

一日の

予定に今日も昼寝あり

鴨田とし子・幸手市中

墓に立つ

吾に声明蟬時雨

永堀徹・川口市芝

濡れ縁の

世間話やかたつむり

新井久女・五霞町小福田

下駄の音の

襟足涼し浅草寺

沼尾光英・幸手市香日向